

| 令和 5 年度 西東京市立 青嵐中 学校 学校評価報告書                                                                                                                                                                 |                                                                                      |       |                                                                                                                |       |                                                                                                                                           |                                                                                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育目標 社会人としての資質を養い、心身の調和のとれた人間に育てる。<br>1 豊かな創造性を育てる。(創造) 2 人を尊重し、物を大切にすることを養う。(貢献) 3 目的に向かって努力する意思を培う。(挑戦)                                                                                  |                                                                                      |       |                                                                                                                |       |                                                                                                                                           |                                                                                                                               |
| 目指す学校像(ビジョン)<br>【目指す学校像】 ○温かく活気に溢れる学校 ○生徒、教職員の個性を生かす学校<br>【目指す児童・生徒像】 ○自ら学び、自らを治める生徒 ○自己実現に向けて挑戦し、やりぬく生徒 ○自発性と主体性に取り組む姿勢をもつ生徒(「一生懸命がかっこいい」)<br>【目指す教師像】 ○生徒に寄り添い、挑戦を支援する教職員 ○自ら学び、生徒と共に歩む教職員 |                                                                                      |       |                                                                                                                |       |                                                                                                                                           |                                                                                                                               |
| 前年度までの学校経営上の成果と課題<br>・授業改善推進拠点校として、充実した校内研修を重ね、教員の意識の向上が感じられるとともに、生徒の学力向上にあたって具体的な課題が挙げられるなど一定の成果が見られた。                                                                                      |                                                                                      |       |                                                                                                                |       |                                                                                                                                           |                                                                                                                               |
|                                                                                                                                                                                              | 具体的方策                                                                                | 第1回評価 | 課題と対策                                                                                                          | 第2回評価 | 学校関係者評価                                                                                                                                   | 課題と次年度以降の対策                                                                                                                   |
| 確かな学力の向上                                                                                                                                                                                     | ・タブレット端末を活用して生徒の意欲を高めるための授業改善を図る。<br>・基礎学力の定着や知識の活用力を高める工夫ある授業実践を行う。                 | 3     | 各教科の授業に対して、ほとんど肯定的な回答となっている。タブレット端末の活用については、各教科にばらつきが感じられる。教科の特性により、使いやすい授業とそうでない授業があるが、学習効果が高まる使用に向けて努力してきた。  | 3     | 長年、保護者アンケートの家庭学習習慣の評価が低い。自習室などで拝見させて頂くと生徒の副教材やドリルなど充実したテキストは持っているようです。保護者の方はその内容や進行具合をご存じなのでしょう。か。保護者は学校での学習内容に関心を払ったことがあるか尋ねてみました。家庭の協力も | 授業によってばらつきはあるものの、タブレット端末を活用した授業を展開し、生徒にとって授業が「わかりやすい」という回答が90%以上を超えてきている。学力向上推進拠点校の取組とともに、タブレット端末をより効果的に活用する授業を引き続き実践する。      |
|                                                                                                                                                                                              | ・授業のふり返りや家庭学習において、自ら学ぶ姿勢と習慣を身に付ける。<br>・ライズ・ライブラリに取り組みせたり、タブレット端末を活用して、各教科の学習に取り組ませる。 | 3     | 家庭学習はまだ身に付いていない傾向にある。生徒が前の授業との繋がりを意識させるために、家庭学習において取り組みやすくするための、タブレット端末を使った家庭学習を各教科で工夫していくことが課題である。            | 3     | 授業改善推進拠点校として研修してきた成果物として、「新学習の手引き」を作成した。振り返り学習として活用することで家庭学習の習慣に結び付けられるよう指導する。ライブラリの研修を受けたことで、積極的に活用し、生徒が家庭学習に取り組むやすい授業を構築す               | 授業改善推進拠点校として研修してきた成果物として、「新学習の手引き」を作成した。振り返り学習として活用することで家庭学習の習慣に結び付けられるよう指導する。ライブラリの研修を受けたことで、積極的に活用し、生徒が家庭学習に取り組むやすい授業を構築す   |
| 豊かな心の育成(いじめ防止)                                                                                                                                                                               | ・ローテーションで授業を担当し、「考え、議論する道徳」の授業を実践し、豊かな人間性の育成を図る。                                     | 4     | 担任だけが道徳授業を行うのではなく、学年全体でローテーションを組んで授業に関わることで、生徒が多様な視点で物事を考えることができるようになり、豊かな人間性の育成に繋がっている。引き続き学年全体で生徒の姿容を共有して    | 4     | 「悩み事や困り事を相談できる先生がいますか」に対して75～79%の生徒はYesですが、担任の先生以外に部活の先生とかでしょうね。残りの20%の生徒のことが気になります。どんな人に相談したいか、相談できるのかを知ることも必                            | 生徒の姿容を確実に見取り、適切な評価を行うことが課題である。担任だけでなく学年の教員が授業に関わることで、複数の視点から物事を捉えることができた。引き続き授業を実践するための情報交換や情報を共有し、生徒の姿容をより確実につかみ豊かな人間育成に整えてい |
|                                                                                                                                                                                              | ・いじめのない学校を目指し、生徒会役員主体に「いじめ撲滅運動」を展開するなど、いじめ防止に向けた取組を充実させる。                            | 3     | 年間3回実施するいじめアンケートで、生徒の状況を一早く察知していくことが大切である。SNSによる誤解を招くような使い方など、一部の生徒に悪意はないが他の人を嫌な思いにさせる言動がみられるため、指導を行っていく必要がある。 | 3     | 運動会の全校実施など、少しずつ以前の活動に戻ってきて活気が出てくると思う。コロナ禍の影響で体力も低下してきているので生徒の意識を向上させていくことが大事になってくる。                                                       | 生徒の些細な発言や行動に対する教職員の意識を向上させることが課題である。日々の生徒の言動など注視することで、その言動がいじめに発展していかないかどうかの見極め、些細なことでも情報の共有を確実に徹底してい                         |
| 健やかな体の育成                                                                                                                                                                                     | ・各行事において生徒主体の行事運営を目指し、生徒を積極的にかかわらせる。<br>・生徒の目標達成に向けての支援、助言を通してやりぬく力の育成を図る。           | 4     | コロナ禍の影響が明け、少しずつ行事の運営においても変化があり、実行委員会を組織して、生徒の主体で運営を努めた。生徒のモチベーションを高めるように教員が支援、助言を行うことが課題である。                   | 4     | 運動会の全校実施など、少しずつ以前の活動に戻ってきて活気が出てくると思う。コロナ禍の影響で体力も低下してきているので生徒の意識を向上させていくことが大事になってくる。                                                       | コロナ禍の制限が解除されたことで、実行委員会を中心に生徒主体で行事を作り上げ、生徒のモチベーションを高めながら指導し、生徒の意識を向上させることが課題である。教員は生徒を支える意識を強くもち、生徒に適切な指導、助言を行えるよう指導してい        |
|                                                                                                                                                                                              | ・仲間やクラスメイトと協力して体力を向上させるための取組の充実を図る。<br>・生徒同士が温かな気持ちで触れあえる関係を築かせる等、心の育成を図る。           | 3     | 運動会においては、コロナが五類に変更されたことで、学校全体で取り組むことができた。体育的行事を通じて、仲間やクラスメイトと協力して取組の充実が図れた。先輩後輩が触れ合えることで人間関係の垣も広がっている。         | 3     | 先生の一生懸命の姿がよく分かりました。へとへとになっている先生、疲れ切っている先生は好ましくないものと存じます。                                                                                  | 夏季研修で、Hyper-QUに基づくデータの活用について研修した。担任だけでなく学年全体で状況を把握し、今後の指導に役立てている。教職員全体で生徒を見守るために、ほんの些細なことでも、共通理解、共通実践を徹底させていくことを継続する。         |
| 業務改善・働き方改革                                                                                                                                                                                   | ・教職員の週あたりの在校時間が60時間を超えないようにする。                                                       | 2     | 教職員の週あたりの平均在校時間は60時間を下回っているが、特定の教員の在校時間が長いことが課題である。校務分掌や学年の業務担当を見直す必要がある。特定の教員に負担が集中しないように調整することが必要である。        | 3     | 先生の一生懸命の姿がよく分かりました。へとへとになっている先生、疲れ切っている先生は好ましくないものと存じます。                                                                                  | 校務分掌や委員会担当を見直し、特定の教員に業務が集中しないように改善していく必要がある。次年度は副校長や主幹教諭に業務の進捗状況や各担当の取組状況を確実に把握させていくことを徹底し、在校時間が長くなる教員を減らすことに努める。             |
|                                                                                                                                                                                              | ・業務の効率化のために、電子データの整理や保存の方法を改善する。<br>・ライフワークバランスについて、自己申告書に具体的目標を示させて取り組む。            | 3     | 業務系PCのデータ管理やルールを徹底していく必要がある。業務系PCのサーバ内のフォルダを整理し、データの保存場所を再度確認し、徹底する。ライフワークバランスについては、自己申告書に具体的に明記させ業務を効率化していく。  | 3     | 「困っていることはないか、何か言いたいことがあれば何時でも言ってこい」という雰囲気の子供たちに伝えることが好ましいと思います。尊敬される先生、あこがれる先生であっていただければ、子どもたちの将来に対し、良い影響を及ぼすばかりでなく、先生の質の向上にも繋がります。       | データ保存のルールを徹底させることが課題である。不要なデータを定期的、計画的に消去させ、必要なファイルはCDに移し替えるなどサーバ内のデータをしっかりと管理させる。業務を効率化することでライフワークバランスにも繋がると教職員に意識させてい       |
| あじたか先生                                                                                                                                                                                       | 毎月の服務研修において、人権教育プログラムを活用し、教職員の人権意識の向上を図る。                                            | 3     | 毎月実施する西東京あったか先生の研修を通して、教職員の人権意識の向上に努めている。チェックシートのほかにテーマに沿ってタイムリーな話題を取り入れるなど研修の資料を工夫す                           | 3     | 「困っていることはないか、何か言いたいことがあれば何時でも言ってこい」という雰囲気の子供たちに伝えることが好ましいと思います。尊敬される先生、あこがれる先生であっていただければ、子どもたちの将来に対し、良い影響を及ぼすばかりでなく、先生の質の向上にも繋がります。       | 西東京市あったか先生の研修を通して、研修の成果を生徒指導で実践させることが課題である。服務事故防止に繋がっていくことなので、教職員に徹底的に意識させ、今年度以上に人権意識の向上を図ることが大切である。                          |
|                                                                                                                                                                                              | 職員室の机上フラット化を目指す。                                                                     | 3     | 机上フラット化については教職員が意識している様子は感じられるが、配布物が多い時期などに机上にもものが置かれたままになることが見られる。退勤時に机上整理を行うなど全教職員が日常的に意識し、継続させていくことが課題である。  | 3     | 先生の一生懸命の姿がよく分かりました。へとへとになっている先生、疲れ切っている先生は好ましくないものと存じます。                                                                                  | ロッカーや棚などを活用し、各教員の教材等の整理、管理を徹底させることが課題である。机上フラットに関しても日々の整理が習慣化、日常化されるように継続して注意喚起をする。                                           |